

組子ベッド百報

2010. 11-12月号 (No. 7)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潴郡大木町三八松1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
[http://kum kobed.com/](http://kumkobed.com/)

このニュースレターは”組子ベッド・販売様向け”に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



こないだまで暑い暑いと言っていたのが、木枯らしが吹き、すっかり秋模様。いかがお過ごしでしょうか?
なんて書いたら、山形の橋本ふとん店さま、北海道のヨネタさんや、越屋さんからは、???とされそうですが、組子ベッド販売店は全国ですので、時候の挨拶は難しい。

■リーダーシップと規律ある生活

チリ鉱山落盤事故、12ヶ月半ぶりに33名全員が救出。感動しました。この奇跡の生還には強いリーダーシップがあったようです。12才から鉱山で働き、経験豊かな63才のマリオ・ゴメス氏。2ヶ月前から鉱山で働き出した現場監督で54才のリス・ウルス氏。この二人が残りの31名をまとめたと言われています。



リーダー論というのがありますが、リーダーというものは、ひとりではなりたない、いかにいいサブリーダーがいるかどうかで、リーダー資質が決まると言っても過言ではない。サブリーダーは参謀といえるかと思いますが、冷静に客観的にみることが出来る立場で、リーダーに助言進言する役目と言っているかと思います。極限状態で、どう全員をリードして行ったかは、おいおい分かってくるかと思いますが、リーダーのもと、一日の時間と役割分担をハッキリさせ、規則的な生活行っていたということも見逃せないと思います。



■組子ベッドに布団乾燥機

組子ベッドのQ&Aには、ほとんどのことを網羅しているつもりでしたが、お客様から「ベッドに布団を敷いたまま布団乾燥機を使用することは可能でしょうか?」と質問を受けました。結論からすれば、特に問題はありません。

というのも、私自身が、写真のように、たま～～に、布団乾燥機で布団を乾かしてまして、それで桐が傷む、組子に変形するということはありません。

安心して、布団乾燥機もお使いいただけます。

< 配送について、ご協力とご理解を >

現在、西濃運輸と契約しお届けしていますが、次の条件がついています

- ・日祝は配達時間の指定はできません
 - ・平日は午前と午後の指定をお願い致します
 - ・配達日数は大まか、九州内は翌日、関西は2日後、関東は3日後、東北は約4日後、北海道は5日後となっておりますが余裕を持って出荷して下さい
- なお、夜(18~21時)のお届けに関してはご相談に応じます



(株)総桐筆筒和光

■組子ベッドの床面は33cm

組子ベッドの床面は床から33cm。この数値は、他社の畳ベッド等を参考にして決定したのですが、なぜ、この高さかを説明することができませんでした。

北海道は札幌で組子ベッドを販売していただいている、ふとんのヨネタさんが、ニュースレターで、ずばり、それに答えてくれました。許可をいただきましたので、ここに記しておきます。



それは、普通のスプリングベッドだと、床面は約53cm。これだと、ベッドから降りる時に、背の高い人ならまだしも、普通の方でしたら、つま先立ちになり、ふくらはぎを痛める原因になる。

組子ベッドの場合は、33cm+布団10cmで、43cm程度。これだと、つま先でなくカかとまでしっかり着くので、ふくらはぎ、足首を痛めることもない。

私も最近、運動中ふくらはぎを少し痛め、夜中、寝ている時に背伸びでもすればツツテ激痛に見舞われるという症状になってました。もちろん組子ベッドで寝てますので、朝起きにふくらはぎの負担のことは少しも考えもしなかったのですが、床面の高いベッドだったら、ベッドから降りる際、朝一の起きかけで筋肉も目覚めてない状態では、ふくらはぎ、足首への負担はかなり大きく、悪化していたのではないかと思います。

ベッドの高さは、高い方が立ち上がる際に楽と思っているお方、ベッドから降りる際の足が着地する段階も重要だと思います。よくご検討を。

■門前の小僧、、、



写真の茶髪の若造は常務。入社して3.5年目。たぶん、親?(私)に似たのだろうが結構腕はいい。組子ベッドに関しては、すべて常務が担当。

小ぶりの桐タンスの別注が来たので、それを一から作ることに挑戦させてみました。みて分かっていたつもりでも、いざやってみると、「わからん、教えて」と、工場長や先輩職人に聞きまくってましたが、古株職人の感想としては「門前の小僧習わぬ経を読む」でした。

■かんなの台直し

常務がカンナを新調した。小型のカンナで幅5x16cm程度。新品のかんなは台直しが必要ですが、調整済みとして届いた。念の為に定規で当たっているところ。カンナの台は一直線ではなく、刃を境に、写真左部が右部より、髪の毛の半分ほどの隙間があり、右部の中央も髪の毛半分ほどに凹が理想。



カンナは刃がどんなに鋭く尖っていても、この台が狂っていると、どんな名人でも削ることはできません。下記がカンナの台を調整する"台直しカンナ"と言われるもので、垂直に刃が立っていることが特徴。出番は少ないのですが必要な道具です。



■道具もんには癖がある

写真の機械は手押しカンナ盤といいます。面を削ったり、直角の面を作る際に使います。刃がむき出しで危険ですので、刃が見える部分は、丸い安全具（機械に貼り付いている円盤）を付けて使います。



私が入社して最初に手こずったのがこれです。板と板を接着する場合、接着面をこれで削る必要があったのです。ただ、削るといってもこれが微妙。材の真ん中が髪の毛の半分ほどに隙間を開けるのが理想。というのは、板を両面当てたときにその部分が吸い付くようになるのです。

機械の前後にあるハンドルを回して、台の高さを変えて調整するのですが、これが難しい。特に写真左側の定盤の調整は、ハンドルを角度1度回しただけでも違ってくる。同じ方向に少し回しては遊びがあるので動かない、それで、一度反対に大きく回し、そしてまた逆回して調節する。

しかも、何度か調節して、これでいいと思ってやっていると、また微妙に違ってくる。その時、おやじから言われたのは「道具もんは癖がある」でした。

確かに、かなでもノコギリでもノミでも、他の機械でも、どんなに教科書どおりに調整しても調整しきれない部分があります。ようするに道具の癖なのです。そこを知ると、こういう場合はこの対処、ああいう場合はこの対処と、ほんとに無意識のうちに、それをやっている自分がありました。

新製品



木風呂・ゆおと（湯音）

外浴槽と内浴槽の二重構造を持つ桐風呂。中小企業支援センターの特許情報アドバイザーの指導を受け、申請書も自分で書きましたので、出願料の三万円ほどと最少経費で実用新案が取れました。



いすなんだなあ～～

この椅子は常務(息子)が、愛娘に作っていた椅子のアイデアをさらに高めて、製品化したものです。ですので、この椅子の名付け親も常務。"椅子と棚"でおやしギャグ的に、"いすなんだなあ～～(椅子なん棚あ～)"だそうです



■再生(洗い・リフォーム)

今年は例年になく、再生(洗い・リフォーム)が多いです。再生されるのは、そのご家庭が円満である”証”と思います。お姑さんと嫁さんの仲がよかったらこそ、その筆筥に思い出があり大切にされているように思います。

再生(洗い・リフォーム)が集中してます、11月半ば頃まで出していただければ、年内仕上げできるかと思えます。お早めどうぞ。



■ブレーキの踏み間違い

NHKのクローズ現代で、アクセルとブレーキの問題を放送していた。実は私も一度経験したことがあります。事故にはならなかったのですが怖い思いをした事があります。

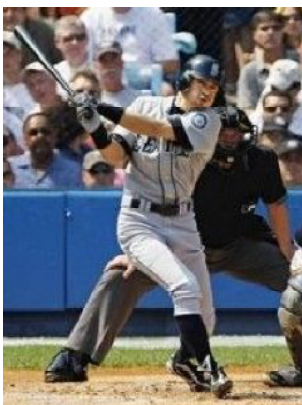
渋滞している中、運転シートに座ったままシャツをモゴモゴと脱いぎ、脱ぎ終わって軽くブレーキ踏んだ。だが踏が足らなかったのか、若干下りだったのか少し前進した。おっと、と思って強く踏み込んだ。そしたら、前輪が持ち上がる程に急加速。一瞬、車が狂ったと思った。踏み込んだのはアクセルだったので。



幸い、私は、ブレーキとアクセルを別々の足で踏むので、ムチャクチャ暴走することなく、すぐ違いに気づき、前方数メートル先の車に当たらずに済んだ。その間、1秒くらいだったと思います。車間距離を長めに取っていたことも幸いしたと思います。

この手のヒューマンエラーは、国内だけでも年間7000件あるという。新車購入時の高齢者にあっては、大惨事になるケースも多々ある。現在、いろいろと対策は検討されているが抜本的なものはない。とりあえずは、そういう踏み間違いがあるという意識は持っておく必要があると思う。

■継続は力



イチロー、すごいですね～。10年連続200本安打。何事もですが続けるということは、たいへん困難を伴います。技術面もですが、人間関係、健康管理、私的なこと、そういう諸々のことが続けることの障害になってくる。

イチローについて詳しく知っている訳ではありませんが、成績が上がれば上がるほど、チームメイトからは妬まれる。かといって、自分をチームに合わせることもできずジレンマが生じる。健康管理も、いつも万全とはいかないと思うが、イチローの体型はたいへんスマート。食事、睡眠、柔軟体操と、資本である体には、とても気を使っていると思う。

本業の野球にしっかりと腰を据えているということは、私的な部分も充実しているかと思う。しかし10年ともなると当然ながら、私的な部分も乱高下はあるはず。私的な部分のほころびがでてズタズタになったプロ選手も多々。「継続は力」と言われるが、その”力”は、継続したもののだけが得ることができる”力”であると思う。

DNA

我が社の遺伝情報であり、会社史であり、備忘録あり、
自分史あり、ドキュメンタリーでもあります



■夏の思い出



私が小学2～3年の頃だったかと思いますが、4人兄弟の中、長男の私と三男(現専務)は、佐世保だったか、川の近くの親戚に夏休み期間中、預けられてました。きれいなお姉様が2人おられ、毎日、座鏡の前でお化粧して出勤されてました。お話しした記憶はあまりありません。

私らは、毎日、川に泳ぎが日課。左の写真はイメージですが、清流で岩場があり、深い冷たいで、ザブンと入ったら、即Uターン。帰ってお昼寝して、夏休みの友を書いていたように思います。

毎週一回の楽しみは"少年マガジン"を買いに行くことでした。自分の家では、ほとんど買ってもらってませんでしたから、これだけでも喜んでいただように思います。

毎日きれいな川で泳げる、週一回漫画の本が買える、この2つだけでも夢のような生活。ホームシックはまったくなく、夏のバカンスを満喫していたのでした。

記憶の中にありますが、お魚のフライでしたが、まるで鶏肉のような食感でとてもおいしいものがありました。それを帰って両親に話しましたが、それがなんだったかはいまだに不明。また、なんで、私と三男が出されたのかも不明です。

■遠くに足で歩く

私は旅行があまり好きでない。それはどうも、小学校の遠足にあると思う。

行き先も言われず出発～～。ダラダラダラ。どこまで行くんだろ?ダラダラダラ。休憩～～。お菓子をかじる。どこまで行くんだろ?出発～～。ダラダラダラ。



そして着いた先は、いつも遊んでいる場所。小学校からは10分。遠回りとして、遠回りして、遠回りして、遠回りして、2時間。遠足、、、、確かに遠くに足で歩くと書いてある。間違いではない。

でも、遠足と聞くと楽しさよりも、またかよ～、今度はどこ～～??って、モチベーションはダウンする。だから旅行～聞くと、イヤだな～～と思うようです。



孫が”バス・電車絵画コンクール”で特選

私くし、56歳にして孫が6人。外孫娘が、西鉄バス・電車絵画コンクールで、なんと特選。私の親父が芸術家だったので、そのDNAを引き継いだようです。でも、外孫のお兄ちゃんも、もっと凄らしく描いた油絵を額に入れて飾っているとが。